

〔企画コーナー紹介〕

南米の魚類化石が出現！

本館2階自然総合展示室企画コーナーでは、現在、ブラジル産魚類化石「カラモプレウルス」を展示しています。カラモプレウルスは、現在では北アメリカの湖や川だけに生息するアミアのなかもです。一般的に全長が1mを超える大型魚で、どう猛な性格であったと言われています。体は細長く、うろこで覆われており、背びれが体のほぼ中央にあります。また、口が大きく、両あごに大きな歯があるなど特徴があります。

この標本は、岡野公一氏（南九州市在住）により当館に寄贈されたものです。

魚類化石「カラモプレウルス」
(本館2階・自然総合展示室)

楽しい実験

博物館では毎週土・日曜日に楽しい実験を行っています。1日3回（11:15～、14:45～、15:45～）約20分間です。内容は簡単で、子どもから大人まで楽しめるものばかり。ぜひどうぞ。

■テーマ

- 10月 しゅりけん しゅっ! しゅっ!
- 11月 ジュズダマでかざりをつくろう
- 12月 よく飛ぶプラトンボ
- 1月 星砂をさがそう
- 2月 鳥のヒコーキをとばそう
- 3月 貝がらや石ころでアート



私たちと一緒に楽しめませんか

〔学芸室の窓から〕

カワゴケソウが天然記念物に

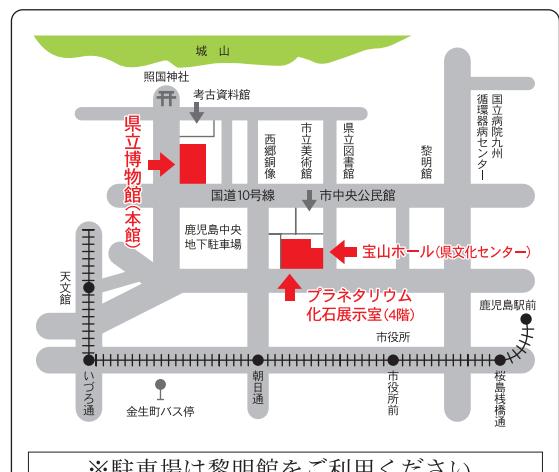
カワゴケソウ科の植物は降雨によって大きく水位が変動する渓流に生きるため、特殊な形をしています。根は平たくなってぴったりと岩場に張り付き、葉緑体を持ちます。葉は流水の抵抗を少なくするように、小さくなっている程度になり、水位の低い冬場に花びらのない花を水面から抜け出して咲かせます。

熱帯性の植物で、日本にはカワゴケソウ属とカワゴロモ属の2属6種があり、沖縄に分布せず、鹿児島（5種）と宮崎（1種）にだけ分布しています。浅く流れの速い溶結凝灰岩上や花崗岩の転石上に群落を作ります。

流水中に生育し、水量や水質（富栄養化や濁水）の影響を受けるため、全種が国・県の絶滅危惧種に指定されています。

県内のカワゴケソウ科植物の主な生育地は昭和29年に県の天然記念物に指定されていましたが、今年2月にウスカワゴロモとカワゴケソウの生えている志布志の安楽川と前川が、8月にはヤクシマカワゴロモの生えている屋久島の一湊川にある生育地が国の天然記念物に指定されました。

いずれも当館の植物担当者が、1年かけて生育地の全線をずぶ濡れになりながら調査した結果をまとめた博物館研究報告書が指定時の審議資料に使われました。

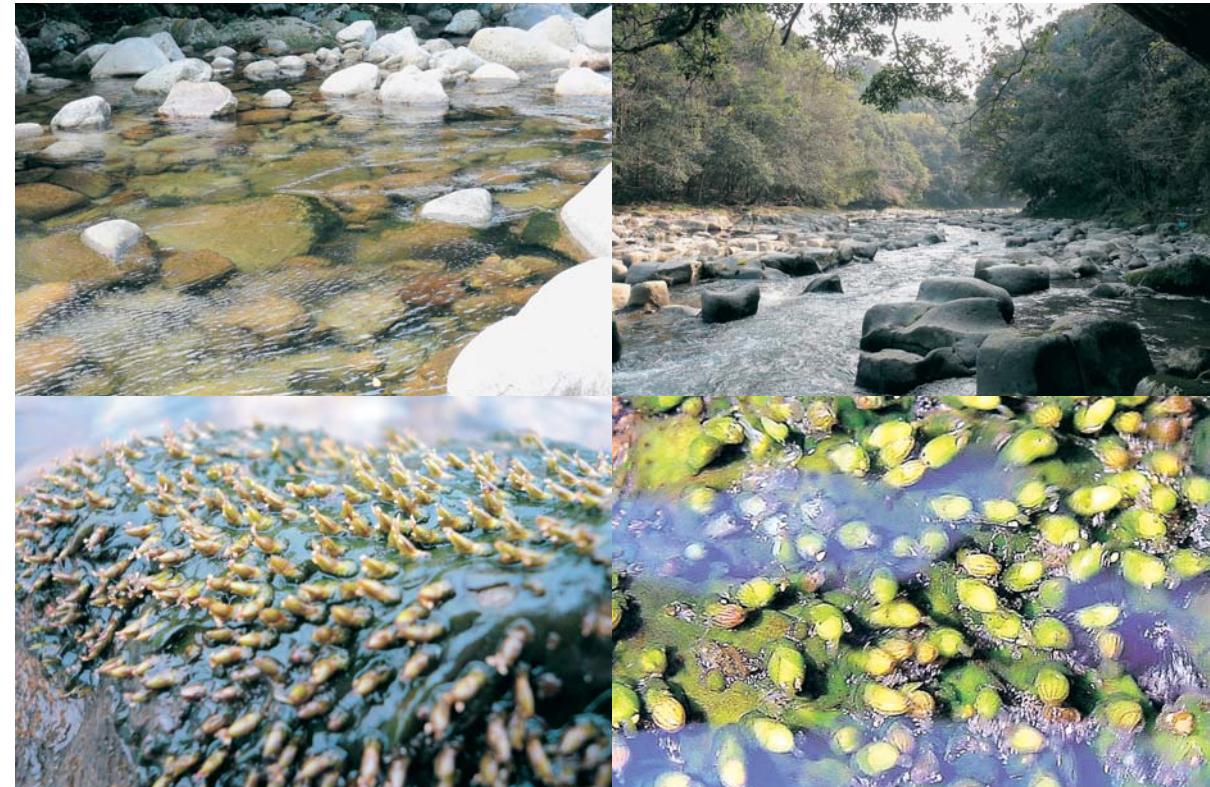


●鹿博だより 編集・発行 鹿児島県立博物館
〒892-0853 鹿児島市城山町1番1号
TEL099-223-6050 FAX099-223-6080
<http://www.pref.kagoshima.jp/hakubutsukan/>

鹿児島県立博物館

鹿博だより

No. 83



屋久島・志布志のカワゴケソウ科植物が国の天然記念物に

（左）ヤクシマカワゴロモ 上：生育環境 下：花 （右）ウスカワゴロモ 上：安楽川の環境 下：花と果実

博物館活動の基本は資料収集

館長 山下 和則

鹿児島県立博物館は、自然史系の登録博物館です。博物館の業務は、資料収集・保管、調査研究、展示活動および普及活動の4つに分けることができます。これらのうち、展示活動や普及活動は、調査研究や数多くの資料がなければ、その活動はできません。鹿児島の自然物の資料収集・保管や調査研究が最も重要な業務と言えます。

現在、本館が所有している資料は13万点を超えており、これは、昭和28年に県立博物館としてスタートして以来、先人達の地道な活動によって蓄積されたものです。南北600kmの鹿児島県、ここは、陸続きではありません。しかも、亜熱帯から冷温帯までの多様な自然環境に恵まれ、多種多様の動植物が生息しています。これらの資料収集や調査研究にはかなりの時間と经费がかかります。以前と比べて、県の財政が逼迫している中での業務には、厳しいものがあります。

このような現状のもと、平成18年から5年計画で県内5地区（徳之島、奄美大島、屋久島、大隅半島、霧島）を対象とした「郷土の豊かな自然遺産資料収集整備事業」を実施していましたが、昨年度までの4年間で約7千点の資料を収集しました。これらの資料をもとに、「霧島の自然」や「世界遺産の島 屋久島の自然」という企画展示等を開催し、「博物館研究報告書」、「鹿児島の自然だより」を発刊して、県民の皆様にその成果を報告してきました。これもひとえに、資料の情報を提供していただくなど、県民の皆様のご協力があり、成し遂げることができたと感謝しています。

鹿児島の自然遺産を未来に引き継ぐために、来年度以降も、この調査研究や資料収集は続けて参りますので、今後とも博物館の活動にご協力とご理解を賜りますよう宜しくお願ひいたします。